

市民大会参加規程

2023.7.1

1 大会への参加

さいたま市民テニス大会(以下「市民大会」という。)に参加するには、当協会の会員であることその他に下記条件があります。

◆大会の種目と参加者条件

1. 会員区分 S: 下記T以外の方。すべての大会に参加できます。

T: 当市外郡市から県大会を目指す会員。参加できる大会は限られます。

F: 団体に所属しないフリーの方で参加できる大会は限られ、有効期間は4ヶ月過ぎると削除されます。

2. 種目

AT: 上級、Aの上位種目、県大会出場権保持者も参加できます

A : 上級、県大会の出場権が獲得できる種目、埼玉県在住、在勤又は在学のこと

B : 中級、試合経験が豊富でさらに競技力向上を目指す方の種目

C : 初級、試合経験の少ない方の種目

E : テニスを始めた初心者で協会初心者教室受講者や卒業生の方

3. 年齢基準: ベテラン部門は、大会年度の12月31日を下限年齢基準とします

ジュニア部門は、大会年度の1月1日を上限年齢基準とします

市民選手権のベテランは開催年の12月31日を下限年齢基準とします

表1. 種目と参加条件

大会	年齢基準	種目				参加者条件										県大会有 資格者	参加 費
		性別		単複		クラ ス	会員区分			彩Tomasのクラス				年 齢 区 分	一般と ベテランの 重複参加		
		男	女	単	複		S	T	F	A	B	C	E				
春季シングルス 春季ダブルス	一般	男	女	単	複	AT	S	T		A					可	可	振込
		男	女	単	複	A	S			A							
		男	女	単	複	B	S				B						
		男	女	単	複	C	S					C					
		男	女	単	複	E	S		F				E		不可		
	ベテラン45～80才	男	女	単	複	—	S	T						有	可	可	振込
南部大会	一般	男	女	単	複	—	S	T注1	F注1						不可(単複 重複可)	不可	振込
	ベテラン45～75才	男	女	単	複	—	S	T注1	F注1					有		可	
ジュニアトーナメント	10, 12, 14才	男	女	単	—	—	S	T	F					有	—	—	振込
秋季シングルス 秋季ダブルス	一般	男	女	単	複	AT	S	T		A					可	可	振込
		男	女	単	複	A	S			A							
		男	女	単	複	B	S		F		B						
		男	女	単	複	C	S					C					
		男	女	単	複	E	S		F				E		不可		
	ベテラン45～80才	男	女	単	複	—	S	T	F					有	可	可	振込
テニスの日		混合	—	複	—	S	T								—	可	現地
団体戦	一般	男	女	—	複	A	S	T		A	B	C			不可	可	振込
		男	女	—	複	B	S	T			B	C					
		男	女	—	複	C	S	T				C					
	ベテラン男・女50,60,70才	男	女	—	複	—	S	T						有			
ミックス ダブルス	一般	混合	—	複	1部	S	T			A	B	C			不可	可	振込
		混合	—	複	2部	S	T				B	C					
		混合	—	複	3部	S	T					C					
		混合	—	複	E	S		F				E					
	ベテラン50才	混合	—	複	4部	S	T						有	振込			
	ベテラン60才	混合	—	複	5部	S	T						有				
	男女合計140才	混合	—	複	6部	S	T						有				
選手権	一般	男	女	単	複	A	S	T		A					不可(単複 重複可)	可	振込
	ベテラン45～80才	男	女	単	複	—	S	T						有			
優秀選手決定戦	一般	男	女	単	複	B	S			A					—	可	振込
		男	女	単	複	C	S			A	B						

注1. 県南トーナメントの県南郡市の協会に登録が必要です。県大会出場有資格者は一般種目には参加できません。

2 大会の概要と参加資格

□選手権

- ・選手権一般と優秀選手決定戦の両方の有資格者(組)は、選手権一般へ参加のこと。
- ・選手権ベテランと優秀選手決定戦との両方の有資格者(組)は、どちらか一方を選ぶこと。

- ・一般部門とベテラン部門の年間最優秀選手(組)を決める協会最高ランクの大会
- ・都市対抗戦の代表選手選抜の参考とする。
- ・ベテランの部は地主株式会社VJOP対象大会グレードF1
[県大会推薦枠]一般男女「単、複」ベスト16内で、各8名(組)

【参加資格】

- ・一般の部 : 市民大会の一般「AT」ベスト16、「A」県大資格取得者
県大会一般の出場者・有資格者、県大会ベテランベスト4
南部大会一般ベスト8
大会運営委員会が認めた選手(組)
 - ・ベテランの部: 市民大会ベテランベスト8
県大会ベテラン本戦出場者、南部大会ベテランベスト8
VJOP選手登録者
大会運営委員会が認めた選手(組)
- *一般とベテランはどちらか一方を選ぶこと。その中での単・複有資格者は両方へ参加できる。
ベテランの単と複は異なる年齢に申込できない。
- *「複」のペアは、県大会本戦選手の単同士、複のペア交換、単と複の組合せは参加できる。

□優秀選手決定戦

- ・市民大会B・Cの年間最優秀選手(組)を決める大会
- ・選手権と同時開催する。

【参加資格】

- ・市民大会B・Cのブロック優勝者(組)が参加できる。
- *単と複の両種目の有資格者は、両方に参加できる。
- *同じ種目でB・C両方の有資格者(組)は、Bへ参加のこと。

□春季シングルス・ダブルス、秋季シングルス・ダブルス

- 一般、ベテランの男女「単」、「複」で構成する大会で、秋季は市民スポーツ大会を兼ねる。
- ・一般A: 県大会春季・秋季予選の推薦資格取得大会、ブロック別トーナメント
[県大会推薦枠]単複とも9ブロック以上は優勝者、8ブロック以下は優勝・準優勝者
- ・一般B・C: 優秀選手決定戦の出場資格取得大会、ブロック別トーナメント
B・C各クラスのブロック優勝者は、協会が大会後クラスアップする。
- ・ベテラン: 年令別部門、45～80才以上迄の5才刻みの種目、選手権出場資格取得大会
- ・Enjoy: テニス教室卒業生、試合経験の少ない方が対象の大会

【参加資格】

- ・秋季は当市在住、在勤又は在学の方も、「一般 B」及び「ベテラン」に限りフリー（会員区分 F）で参加できる。
- ・一般AT:だれでも参加できる。県大会資格、埼玉県在住在勤在学、S/T登録を問わない。
- ・一般A :県在住、在勤又は在学の方

- ・県大会出場有資格者は参加不可、「複」では個々の選手に該当。有資格者とは県大会本戦、予選に残っている選手、県大会推薦が取れる各種大会で春季又は秋季の出場資格を獲得した選手も含む。
- ・一般Aの申込み後に県大会出場権を獲得した選手は、その時点で辞退連絡をすること。

・Enjoy:彩 Tomas の E クラス、未登録者も参加可

- ・ねんりんピック全国大会予選会:大会翌年度の 4 月 1 日までに男・女 60 才、男子 70 才の各種目の年令に達していること、さいたま市在住であること。

□テニスの日

ファミリーミックス大会、市民スポーツ大会の一種目としてテニスの日に開催

【参加資格】

- ・夫婦、親子、兄弟、祖父母と孫の男女ペア。ペアの一人が会員であれば、未登録の当市在住、在勤又は在学の方もフリー（会員区分 F）で参加できる。

□ジュニア トーナメント

年令別(10・12・14 才以下)男女「単」のジュニア大会、試合経験の少ない選手が対象

【参加資格】

関東ジュニアランキングの埼玉県ランキングで、

- ・10才以下は女子が8位以下、男子が15位以下
- ・12才、14才は男女とも50位以下

□団体戦

- ・「複」3組による団体戦。1チーム6名～12名で編成する。同一団体から複数チームの参加可
- ・参加者は1種目、1チームに限定し、重複参加はできない。
- ・チーム編成の都合で上位種目に参加しても春季・秋季市民大会の彩 Tomas のクラスアップは不要

【参加資格】

- ・参加種目は申込時の彩 Tomas ダブルスクラスを基準とする。

□ミックスダブルス

- ・一般(1～3 部)、ベテラン(4～6 部)、Enjoy の 7 種目で構成
- ・本戦・予選方式(1部は本戦ストレートインあり。参加数により本戦のみの場合もあり。)

【参加資格】

- ・参加種目は申込時の彩 Tomas ダブルスクラスを基準とする。
- ＊大会年度の県大会一般「複」出場者、出場権獲得者及び有資格者は1部に参加のこと。

3 大会運営付則

(1)大会の申込み

前記＜1 大会への参加、2大会の概要と参加資格＞を理解した上で申込むこと。

(2)クラスアップ

春季、秋季市民大会B、Cブロック優勝者は、当協会で彩 Tomas のクラスを 1 ランクアップします。

(3)クラスダウン

原則として認めない。

ただし、加齢(65歳以上)又は病気等による体力、競技力の低下が認められ、過去3年間の市民大会(春季、秋季)に4回以上参加して未勝利の場合は、申し出により審議します。

(4)ダブルエントリー

ア 市民大会と県大会、各種大会の開催期間が重複している場合、重複申込をしないこと
重複して参加したことが判明した場合はペナルティーの審議対象とします。

イ 異なる市民大会が一定期間内に開催される場合は、複数の申込みが出来ます。

ただし、重複が分かった時点で一方の参加棄権を連絡すること。

(5)ドローの規模

各種目は3ドロー以上で成立。3ドローはリーグ戦、4ドロー以上はトーナメントとします。

不成立の場合は大会運営委員会の審議結果を連絡します。

(6)表彰対象

ア 大会上位入賞者に対し、規定に基づき表彰します。

イ 年間大会を通じ活躍された参加者に対して、規定に基づき功労賞として表彰します。

4 ペナルティーについて

(1) 市民大会は公平かつ権威ある大会を目標とする観点から、申込クラスの違反・年令の違反・ダブルエントリー等の不正行為に対して厳格な対応を行います。

(2) 下記項目に触れた場合は、当市テニス協会が開催に係る大会に原則、1年間の参加停止とします。

ア 県大会出場有資格者の春季・秋季市民大会参加

イ 「S」登録者の他郡市区大会予選会参加及び予選会に繋がる大会参加

ウ 申込者と異なった替え玉、名義貸し、代理参加(名義人、代理、パートナーも含む)

エ 団体戦のチーム員で参加し、その一員が大会期間中、上記各項目に触れた場合の処遇対象はチーム

5 県大会予選会参加に関する注意事項

県大会出場権の獲得は各郡市区協会の県大会予選会と県協会公認のオープン大会等があります。市民大会への参加は「大会参加資格規程」を確認してお申込み下さい。

(1) 当協会の県大会予選会と推薦条件

県大会予選会は春季・秋季市民大会の一般部門Aと、選手権の一般部門があります。

県大会への推薦は、予選会上位の選手(組)、区分「S」で埼玉県在住、在勤又は在学であることが必要です。推薦条件を満たさない場合は推薦数が減る場合もあります。

(2) 区分「S」「T」と各郡市区主催の県大会予選会の関係

区分「S」: 当市から県大会出場権の推薦獲得を目指す方

他郡市区が主催する県大会予選会又はそれに繋がる大会に参加できません。

県大会推薦を放棄等の条件をつけても参加できません。

区分「T」: 当市以外から県大会出場権の推薦獲得を目指す方

当市の春季・秋季市民大会には参加できません。

(3) 当市在住、在勤、在クラブで、複数の郡市区協会への登録者は、区分S、Tに従って、郡市区の県大会予選会を一つに絞って参加してください。

6 埼玉県テニス協会通知[参考]

埼玉県テニス協会通達(H21 年 12 月 3 日)

1. 会員登録は在住、在勤、在クラブで複数の郡市テニス協会に出来る。
県協会主催大会、行事には県協会登録会員(3 月 1 日付け、各郡市登録会員)でないと参加できない。
2. 郡市テニス協会から選抜された選手、推薦を受けて県行事等に参加する会員は当該テニス協会の会員であること。
3. 県協会主催大会に郡市テニス協会の推薦で参加する選手は、複数の郡市テニス協会にまたがって推薦を受けることは出来ない。単・複は別々の郡市テニス協会からの推薦を受けられるが、当該テニス協会の決まりに従う。推薦は実質的に活動している郡市テニス協会からが望ましい。
4. 県協会主催大会に個人の資格で「複」に参加する場合は、それぞれの選手が登録している郡市テニス協会が異なることは差し支えない。

埼玉県一般・ベテラン選手権大会の大会参加基準変更(平成 24 年 7 月 13 日)

現在大会参加資格について「埼玉県テニス協会の会員である事」が必須条件になっているが、この条項につき以下の通りとしたい。

「埼玉県テニス協会の会員で、埼玉県在住、在勤者に限り参加出来る。但し大学生は国体参加基準である『ふるさと制度』を適用して、埼玉県の中学校又高校を卒業した人で会員であれば参加出来る」

(理由)

埼玉県一般及びベテランテニス選手権大会(春季・秋季)は「県民総合体育大会」としての位置付けを行っており、本来の基準に基づき県民である必要がある。この「県民総合体育大会」により、県営テニスコート(主として大宮第二公園第一コート)は優先してコートの確保及び減免対応を受けて最大限の優遇を受けている。従って最も基本的な「県民」の大会でありこの原則を堅持する。以上の理由により「県民総合大会」である下記4大会要項を変更する。

埼玉県春季一般テニス選手権大会、埼玉県春季ベテランテニス選手権大会

埼玉県秋季一般テニス選手権大会、埼玉県秋季ベテランテニス選手権大会 以上4大会

7. 改廃

本規程の改廃は理事会の議決による。

付 則

1. 本規程は旧「さいたま市民テニス大会参加資格細則」を改め 2023 年 4 月 1 日理事会にて承認・施行